

今、確かな未来を創ろう！

View

【ビュー=展望】

衆議院議員 **梶山ひろし**

●発行/茨城県常陸太田市山下町1189 自由民主党茨城県第四選挙区支部

プロフィール

●昭和30年10月18日、常陸太田市生まれ
●県立太田一高～日大法学部卒
●サラリーマン生活を経て、昭和63年会社を設立し、中小企業の経営にあたる
●平成12年、衆議院議員初当選、現在4期
●母・春江、妻・由可子と3女の6人家族

愛郷無限
—新時代—
Kajiya Hiroshi

政府の動きは遅い！「復旧・生活支援」に全力。

3月11日に発生した東日本大震災で犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災に合われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当事者意識を持って、早期実現に取り組む

私は今回の震災が、地元も被災を受けていること、中小企業経営の経験上、こういった際の中小企業や自営業の経営の大変さを実感していること、エネルギー安全保障の観点から今まで原子力発電を国策として重視したこと、といった経緯から強い当事者意識を持っています。そして震災対策に専心する決意で、次の通り、復旧・生活支援に向け、行動しています。

梶山ひろしの行った政府への陳情・要望

- 3月25日……茨城県内被災の要望を茨城県知事とともに、厚労大臣、農水大臣、国交大臣に陳情
 - 3月28日……風評被害、被害補償の要望をJA茨城中央会とともに石破政調会長に陳情。
 - 4月7日……原発事故に伴う緊急要望を1都6県議会議長とともに谷垣自民党総裁へ陳情。
- 同時に私は党の『原発事故災害に関する特命委員会』の事務局長に就任し、被災地を視察。実情を把握し、政府に対して強く対策を求めています。
- 3月28日……初会合で委員会方針を取りまとめ
 - 4月5日……福島県被災市町村を現地視察
 - 4月15日……被災市の避難先である埼玉県を視察意向を踏まえ、政府に対し、要望・要請。

また、私は国会で精力的に質問に立ち、原発事故の情報開示の徹底、補償の早期実現、全国の原発の再点検、国民の健康対策の徹底などを要望いたしました。

梶山ひろしの行った国会での質問（4回）

- 4月6日……『衆議院経済産業委員会』（情報開示、被災者の生活支援の早期実施などを強く迫る）
- 4月14日……『衆議院災害対策特別委員会』（被災者の生活支援の早期実施を強く迫り、その具体策として原発交付金の柔軟運用を提言）
- 5月11日……『経済産業委員会』（全国の原発の再点検、被災者一時帰宅の早期実施、補償の早期実現を強く迫る）
- 5月23日……『東日本大震災復興特別委員会』（原発事故に関する補償の早期実施、モニタリング結果など情報開示、国民の健康対策の徹底を強く迫る）

「動画 配信中」下記の梶山ホームページからこれらの質問は、ご覧いただけます。

<http://www.kajiyama-office.com/>

※速報！5月23日の梶山の質問はNHKテレビで全国中継され、大いに注目されました。（裏に続く）



衆議院経済産業委員会、気迫をこめて政府を質す

大臣も「梶山提案」に納得し、さっそく、実現！

政府内には「国と東京電力の責任をどうとらえるか」「補償のスキームをどうつくるか」などといった形式的な議論ばかりが目立ち、被災者への補償が進まない姿勢が見て取れました。そこに強い憤りを感じている私は、国会での質問を通じ、再三「国策として原発を進めたのだから、まず、被災者の苦境を救うため、国が肩代わりして、すぐに支払うべき」と訴えました。

さらに「被災者への当面の生活資金を『電源立地地域交付金』を柔軟に運用し、早急に執行すること」「一時帰宅を早期実現すること」と要望。大臣にも、この主張に納得していただきました。私の質問は、新聞各紙にも取り上げられ、好意的な評価をされています。

しかし、被災者の皆様の思いに比べると、政府の動きが一段も二段も遅いことに私は、歯痒さを覚えてなりません。被災者の方々の補償は、今、必要なものであって、1か月先、2か月先という悠長なものではないのです。その切実さ、時間的感覚が現政権にわかっているのか。私は、今後とも大きく声を上げ、震災からの復旧のため、精一杯、行動して参ります。

国難の今、国会人としての責務を果たすため…

この大震災は日本の社会に極めて大きな被害をもたらしました。そして福島第一原発の事故は、いまな



新しい議員連合『民自連』の呼び掛け人としてひな壇に

お、進行中で事態の収拾に目処が立てられていません。

この度、こういった思いを共感できる政治家の皆様と議論を重ね、「国難対処のために行動する『民主・自民』中堅若手議員連合（略称：民自連）」を設立いたしました。自民党からは私を含む5名（菅義偉、河野太郎、岩屋毅、平将明、梶山弘志）、民主党からも5名（樽床伸二、松野頼久、長島昭久、笠浩史、北神圭朗）が呼び掛け人となり、当選5回生以下の衆議院議員を対象に参加を募りました。

設立の意図は、国会人としての政務を果たすべく、「与党野党の第1党同士が、党利党略ではなく、今の政治の停滞を解消するため、議論の基礎をつくり、新しい日本の創造を目指す」ものです。

5月17日、衆議院議員会館の大会議室で初会合を行い、民主党87人、自民党22人の109名が参加しました。今、一大勢力として注目されています。

この会の中で私は、呼び掛け人として、国の危機管理や復興における政治主導の在り方等の論点の整理や意見交換、勉強会の企画を急ピッチで進めています。

日本の再生に向けて、渾身の努力を続ける

かつて敗戦で焦土と化した国土を前に、祖父母や父母の世代は雄々しく立ち上がり、復興と繁栄を築き上げました。私はその努力に思いを致しながら、今回の大災害を日本の再生と新たな政治への起点とすべく、自らの渾身の努力を続けて参りたいと思っています。

そして、景気低迷の日本にさらに震災が追い打ちをかける中、日本経済の活路を見いだし、さらに疲弊する地方の立て直しに向け、前進を続けて参ります。

今後とも皆様のご指導をお願い申し上げます。

■どうぞご覧下さい。アクセスをお願いします。

<http://ameblo.jp/kajiyama-hiroshi>

<http://twitter.com/kajiyamahiroshi>

ホームページ <http://www.kajiyama-office.com/>

衆議院議員 梶山ひろし

連絡先

議員会館
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館903号室（新しくなりました）
TEL.03 (3508) 7529 FAX.03 (3508) 7714

本部事務所／自民党茨城県第四選挙区支部
〒313-0013 茨城県常陸太田市山下町1189 TEL.0294 (72) 2772 FAX.0294 (72) 3383
TEL.0294 (72) 8100 自民党茨城県第四選挙区支部



動画メッセージ配信中。【梶山ひろしチャンネル】 <http://www.youtube.com/kajiyamahiroshi>